

(学年) 第2学年、(教科・科目) 英語・英語表現Ⅱ

一斉学習

(単元) Lesson9 Do You Like Your Job?

(本時のねらい)

「仕事・職業」をテーマに It takes[costs] ... to-不定詞、to-不定詞＋前置詞を用いた表現を学習し、ある行為に要する時間や金額の伝え方、名詞や代名詞を修飾する方法について学び、自分が伝えたい内容に関する情報量を増やす力や、自分の考えを効果的に伝える表現を身に付けさせる。

言語材料を繰り返し活用しながら、内容をより詳しく伝えることができる表現力の向上に焦点を当てた指導を行う。間違いを恐れずに話することができる雰囲気づくりに努めるとともに、生徒が自分の考えなどを効果的に話することができる言語活動を目指す。

(ICT活用方法)

電子黒板を活用して英語での発話とともに、発話内容を投影することにより、視覚的な支援をもたらす。生徒が自分の一人一台端末を活用して、授業支援クラウドアプリ上のノートでマッピングを行い、そのノートを見せながらパートナーに伝えることで、生徒が興味をもって活動にのぞむことができることと、間違いを恐れず積極的に英語で話すことができるよう心掛けている。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導上の留意点	ICT活用方法
2分	・英語であいさつをする。	・英語で話す雰囲気づくりをする。	
5分	・前時の復習をする。	・困っている生徒には個別にヒントを出す。	・ヒントを電子黒板に映す。
3分	・本時の目標と内容の確認をする。	・本時の目標と内容を全員が理解できているか確認する。	・目標と内容を電子黒板に映して可視化。
15分	・1人1台端末を用いて「自分の将来」についてマッピングとメモをする。	・既習事項を確認する。 ・例を示しつつ助言する。	・授業支援クラウドアプリ上のノートでマッピングを行う。
20分	・前項の資料を参考に「自分の将来」につい	・ペアでやりとりをする際	・自分のノートを相手に見せながら、ペア

5分	てペアでやり取りする。 ・振り返りシートを記入する。	・ペアでのやりとりが終わるごとに相互評価するよう指示する。 ・ペアからの評価やコメントを参考に自己評価させる。	とやりとりする。
----	-------------------------------	--	----------

(授業の様子)



(電子黒板活用)



(一人一台端末活用)



(一人一台端末活用)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

電子黒板を使って授業の目標や内容の説明をする際に、言葉での指示のみならず文字やイラストなどを用いたことにより、視覚的な理解を促すことができた。そのため、生徒全員が目標と内容を理解したうえで、授業にのぞむことができ、目的意識をもって活動にのぞむことができた。

自分の書いたマッピングを用いてパートナーに見せながら伝えることで、生徒のやる気を引き出すことができた。

授業支援クラウドアプリが不調な際の対応や、モニタリング機能の効果的な活用などが今後の課題である。